



Cognite Data Fusion

データとアルゴリズムによって、
安全で持続可能な産業界の未来を形づくりします

複雑化している 産業データの課題



分散している
データ類
(OT/IT/ET)



産業分野の壁
(IT/data)



品質が低い
データ



拡張性
(規模に比例
して作業工数が
増加)



システム移行
の遅延、
コスト増、
失敗

Cognite Data Fusion は産業データの課題を解決する
オープンな産業用 DataOpsプラットフォームです

データの
価値化

ワークフローの改善



ローコード/ノーコード
アプリケーション



データサイエンス



サードパーティ
アプリケーション



業界標準
アプリケーション

データの
活用化

アプリケーション構築の支援

API、SDK &
ブループリント

データ
モデリング

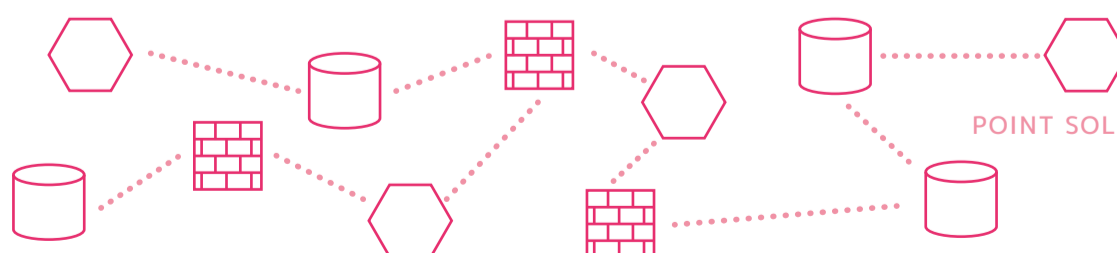
ソリューション
データ
プロダクト

ソリューション
ホスティング

データ探索

データの
関連化
(意味付け)

インダストリアルナレッジグラフの生成



POINT SOLUTION



COGNITE

データ統合と
コンテキスト化

データの
可用化

ヒストリアン

ERP


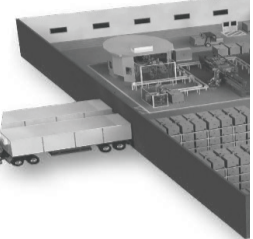
CMMS


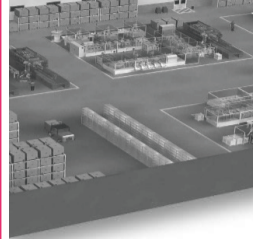
IoT


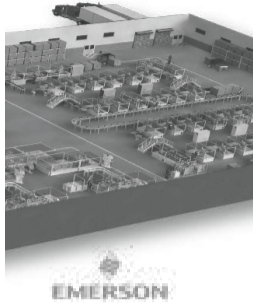
IT / OT システムのサイロを横断して すべての産業データにアクセスし、全体像を提供します


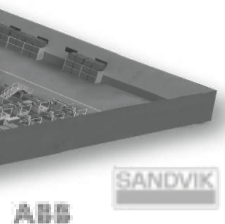


Cognite 採用前

- 全体を見渡せないサイロ化されたソリューション
- データから洞察を得られない
- データフローを制御できないので、最適な判断ができない
- 拡張性のない膨大な手作業

ERP




MES





制御システム




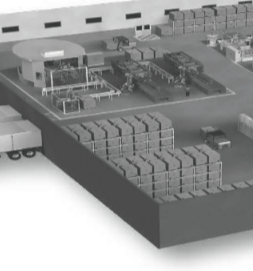
その他のシステム







Cognite Data Fusion 採用後





- 自動化と手作業の削減によるデータドリブンな意思決定
- 持続的な価値があるインフラストラクチャー
- 新たな収益機会の創出
- 運用におけるメンテナンスとリスクの軽減
- 効率性、安全性、持続可能性の向上



ERP



MES



制御システム



全体の価値





Cognite は業務のデジタル表現を作成する際の 3つの基本的な課題に取り組んでいます

3 価値の獲得

独自のツール、サービス、オープン API により、すべてのアセットにおける価値の獲得と運用のスピードアップを容易にします。

2 取り込み、正規化、コンテキスト化

不完全になりがちなデータを継続的に最適化し、文脈を付与します。共通のデータモデルにより、分野を横断した分析と可視化が可能になります。

1 データの民主化

ソースシステムからのデータを解放し、データのサイロを取り除きます。常に最新のデータをどこからでも瞬時に利用できるようになります。


エンドユーザー

デジタル
ワーカー

スマート
メンテナンス

生産最適化

持続可能性



データコンテキスト化 as a service

